

2013年9月13日(金)

ちよだプラットフォームスクウェア 402 会議室

- ◆ 委員長：中澤信夫 副委員長：久保田悟（議長） 金子純代
事務：熊谷一樹 室橋紅里子 村井梨恵 書記：中山遼平
- ◆ 出席者（順不同）：児玉萬平 斉藤威 加藤文弥
- ◆ 開会 19:03

- ◆ キールボートシリーズ相模湾 2014
 - ・ HMYC レース、江ノ島ノルウェーフレンドシップカップ、葉山チャリティーレース、相模湾ヨットフェスティバル、相模湾オープンヨットレースなど、単体のレースに様々な形で支援を行うことを検討している。今後、各団体の担当者と打ち合わせ予定。（金子）

- ◆ 日本財団助成金申請
 - ・ キールボートパーク構想を助成申請する。調査研究事業としての申請を検討している。
 - ・ 斉藤、久保田、中山で企画書を作成する。
 - ・ 企画書を日本財団に提出することで、国土交通省への JSAF 活動のアピールともなる。（斉藤）
 - ・ 艇種、老若男女、障害者、セーリング以外のマリレジャー、海外からの参加を含む、シームレスな海洋文化の構築及び浸透を目指す。（斉藤）
 - ・ 若洲新設のオリンピックマリナ建設・運営計画に当委員会からも2020年以降キールボートパークとして利用できるよう提言したい。（中澤）
 - ・ 海外チームの招待には海技免状の問題をクリアにする必要がある。セーリング特区の申請などを今後検討する。（中澤）

- ◆ 理事会(9月7日)報告
 - ・ 2020 東京オリンピック・パラリンピック準備委員会の設立案(10月1日発足)を承認した。
 - ・ 上記委員メンバー案の報告。今後、若手スタッフの人材育成を進めていく。（児玉）
 - ・ 将来のセーリング界発展の契機となるべく、オリンピックの準備を進める必要がある。
 - ・ J-SAILING に代わる広報媒体として、JSAF の HP を 2014 年度よりリニューアルして活用する。
 - ・ 西岡オリンピック強化委員長による Perth Project 案の説明。オーストラリア・パースでのレーザーラジアル級選手の合宿強化計画。適宜、ユース世代選手を募集する予定。
 - ・ 8月31日時点の JSAF 会員登録数は 9,003 人であった。
 - ・ 横浜ベイサイドマリナで9月27-29日にフローティングヨットショーが開催予定。
 - ・ 中澤委員長から海外キールボートレガッタへの日本チーム参加状況の報告と、アジアパシフ

ニック学生カップ、NYYC インビテーションナルカップ出場チームの紹介を行った。

◆ その他報告事項

- ・ 東京オリンピックの開催が決定。ISAF 定時総会の日本開催を JSAF で検討している。(児玉)
- ・ ジャパンカップ 2014 は持ち回りで関東開催予定だったが、現時点で開催地未定。西宮もしくは相模湾での開催を調整中。(児玉)
- ・ チャイナカップ 2013 への日本からのエントリーチームは現在調査中。(中山)
- ・ 大学対抗マッチレース 2014 は担当者が海外遠征中のため、進捗状況を次回報告予定。
- ・ JSAF 理事/委員長、加盟団体代表宛て、JSAF 定期表彰の受賞候補者の推薦依頼があった。
- ・ タモリカップは台風でレース中止したが前夜祭は盛況だった。来年も開催予定とのこと。

◆ 閉会 20:35

- ◆ 次回委員会の開催日：未定。決定次第、web 公開及びメール配信します。